

たかつき 市議会だより 市議会

No. 292

9月定例会

Contents

9月定例会の概要	2
議案質疑	3
議決結果、表決結果	5
一般質問	6
議会の日程等	8

高槻市島本町消防指令センター さらなる安全・安心に向け共同運用を開始



定例会
の
概要

令和7年9月定例会を9月4日から25日までの22日間の会期で開きました。

今定例会では、13億7734万円を増額する令和7年度高槻市一般会計補正予算（第3号）や、高槻市立公民館条例の一部改正などの条例案件などを審議し、議決しました。

また、物価高の影響が長期化している中、子育て世帯への支援策として7100万円を増額する令和7年度高槻市一般会計補正予算（第4号）が追加提案され、議決しました。



主な議案のあらまし

公民館をコミュニティセンターに移行

地域住民からの要望を踏まえ、芥川公民館及び北清水公民館を当該地域住民が自主的に運営・管理するコミュニティセンターとし、両公民館を廃止する、高槻市立公民館条例中一部改正についてを可決しました。

子育て世帯へ
地元産米を給付

物価高の影響が長期化している中、食費に大きく影響を受けやすい子育て世帯への支援策として、高校生等及び児童扶養手当受給世帯に地元産米を給付し支援するとともに、地産地消の取組を推進する、令和7年度高槻市一般会計補正予算（第4号）についてを可決しました。

一般会計補正予算（第3号）の主な内容

- 公民館からコミュニティセンターへの移行に伴う準備経費 (2,284万円)
- 障がい者就労施設への支援 (1,306万円)
- 食材の価格高騰による学校給食に係る賄材料費及び給食費補助の増など (2億8,275万円)

一般会計補正予算（第4号）の主な内容

- 高校生等及び児童扶養手当受給世帯への臨時支援 (7,185万円)

人事案件

◎教育委員会委員に萩原織恵（旧姓・田邊）さんを任命することに同意しました。

令和6年度決算状況

(単位：千円)

会計区分	歳入	歳出	実質収支
一般会計	147,928,132	142,805,685	3,523,157
特別会計	82,899,272	76,435,123	6,464,150

※実質収支＝歳入－歳出－翌年度へ繰り越すべき財源

企業会計	収益合計	費用合計	純損益
下水道等	8,591,657	8,089,057	502,600
市営バス	3,470,456	3,592,193	△ 121,737
水道	5,904,652	5,370,149	534,502

※純損益＝収益合計－費用合計

※端数処理については、表示単位未満で行っています。

令和6年度決算は継続審査

令和6年度一般会計・5特別会計・3企業会計などの決算認定については、10人の委員で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

審査結果は、12月定例会の冒頭に報告し、決算認定の採決を行います。

決算審査特別委員会委員

委員長	森本 信之
副委員長	平田 裕也
委員	金森 雅樹
委員	きもとゆう
委員	鈴木りゅういち
委員	中村れい子
委員	山崎麻里子
委員	湯峯佳代子
委員	吉田 章浩
委員	吉田 錦司

9月定例会で提案された各議案について、本会議や各常任委員会で審議を行いました。

ここでは、本会議や委員会での主な質疑の内容を掲載しています。

教育

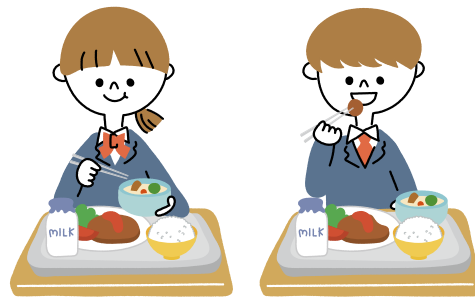
**小中学校の給食費改定
物価変動に柔軟に対応する
仕組みの構築を**

議員 食材の価格高騰による給食費改定に関し、今後の物価変動に柔軟に対応するための仕組みについて伺います。

保健給食課長 今後の物価変動への対応については、来年度以降も引き続き、給食の量や質、栄養価を落とすことのないよう努めるとともに、毎月の収支状況を基に、消費者物価指数などの経済指標も注視しながら適切に対応していきます。

議員 給食は栄養面だけでなく、食の大切さや地域とのつながりを結ぶ貴重な

機会であるため、今後も持続可能な運営体制の整備と物価変動に柔軟に対応できる仕組みの構築をお願いします。



下水

**下水道管路の
全国特別重点調査
進捗状況と安全対策は**

議員 国土交通省より要請のあった下水道管路の全国特別重点調査に関し、埼玉県八潮市の道路陥没現場と類似の優先実施箇所の進捗状況と、調査時の安全対策について伺います。

下水河川事業課長 管きよ内調査を終え、12路線中4路線で一部にクラックや浸入水を確認し、緊急度Iと判定されたことを、大阪府を通じて報告しています。なお、引き続き、その他の路線の管きよ内調査を実施するとともに、打音調査や空洞調査等を順次実施していきます。

安全対策については、調査時にはマンホール内を十分に換気するとともに、酸素濃度や硫化水素濃度の測定など、改めて受注業者に注意喚起し、安全対策を徹底しています。

議員 今後、技術系職員の確保が難しくなると予測される中、効率のかつ効果的な点検・調査などによる省人化や、人身事故リスクの低減にも資するAーやDXの活用など、新たな技術の導入について検討してほしい。

議員 国からの交付金をしっかりと活用して調査し、必要があれば速やかに修繕や更新工事を行ってほしい。

福祉

**障がい者就労支援施設
新たな付加価値を
生み出す事業の内容は**

議員 国の補助事業に採択された就労支援施設における、新たな付加価値を生み出す事業の内容について伺います。

障がい福祉課長 障がい者就労継続支援B型事業所のジョブピットは、主に学校給食用の野菜の生産等を行っています。一般向けの生産販売や加工品の開発等を予定しています。また、



▲ 下水道管路の調査の様子

保育

**物価高騰対応
民間の保育園等にも
給食に係る補助を**

議員 食料品の価格高騰に対応するため、公立の保育所・認定こども園の給食に係る賄材料費を増額することです。

物価高騰で民間園の給食にも影響が出ていると考えますが、給食内容等の聞き取りは行っていますか。

保育幼稚園総務課長 毎年度、指導監査において、日本人の食事摂取基準に基づき、給食における給与栄

同じくB型事業所の明星福祉会芥川事業所は、利用価値が低くなった竹を有効活用し、竹製品の販売等を予定しています。

議員 国の動向を把握することで補助事業に採択されたことは高く評価できます。引き続き、事業所に寄り添いながら、必要な支援を実施してほしい。

議案質疑

養目標量が適正に設定されているかなどを確認しています。

議員 民間園に状況を聞き取り、必要に応じて補助をしてほしい。

議員 給食は食文化を継承する教育的価値等があります。必要な支援を続けてほしい。



子育て

**高校生等への
地元産米の給付
事業選定の経緯などは**

議員 物価高の影響が長期化している中、子育て世帯への支援策として、高校生等及び児童扶養手当受給世帯に対して地元産米を給付することですが、お米による支援を選定した経緯のほか、補正予算として計上されている消耗品費の算定根拠について伺います。

また、お米の配布に合わせ、お米づくりに少しでも関心を持ってもらうための取組が必要と考えますが、

見解を伺います。

子ども未来部長 お米による支援を選定した経緯に

ついては、主食として幅広い世帯に受け入れられやすいこと、お米は保存性が高く、日常的に消費されることから、広く食の充実が図れ、家計の負担軽減を実感してもらえると考えたためです。なお、物価高の影響が顕著に表れている食料品の1つであることから、生活支援としての効果が大きく期待できるものとして、これまでの事業の実施状況からも、引き続き有効な支援策であると考えています。

また、消耗品費では、今の市場価格等を踏まえたお米の購入費や、必要な事務用品費を計上しています。

お米の配布に合わせた取組については、地産地消を推進するため、昨年度と同様、今回もお米が地元産米であることや、地元産の農作物を販売している朝市・直売所の情報を掲載したメッセージカードを同封する予定です。



▲ 子育て支援策として給付される地元産米

議員 物価高騰が長期化している現状は問題であり、市民への還元という観点からも、先行きが不透明な状況の中で、昨年以上に物価高騰の支援策を検討してほしい。

また、昨今の米不足等により、私たちの主食であるお米の問題についての関心が高まっているこの時期に、お米づくりの維持に関し、消費者も一緒に考える1つの機会になるよう工夫してほしい。



市民生活

**公民館のコミセン移行
行政と地域が一体の
まちづくりを**

議員 コミュニティセンター設立の機運が高まったことを受け、芥川公民館と北清水公民館をコミュニティセンターに移行することですが、移行に当たっての支援と、移行後の支援について伺います。

コミュニティ推進室主幹 移行するに当たっては、地域のコミュニティセンター設立準備委員会の要望を踏まえ、施設の整備や必要な備品等を購入します。また、既存のコミュニティセンターへの視察や、本市が示す事務手引書を活用して管理・運営に必要な知識が取得できるよう支援をしています。

移行後の支援は、既存のコミュニティセンターと同様に、光熱水費やスタッフ報償費などの管理・運営に必要な補助金を交付するほ



▲ 芥川公民館



▲ 北清水公民館

か、市が計画的に施設の整備や改修を行い、建物に付随する修繕についても基本的に市が行います。

議員 持続可能な体制づくりのための支援等をし、今後も住民が活用しやすい地域拠点となるよう、引き続き行政と地域が一体となったまちづくりを進めてほしい。

令和7年9月定例会の議決結果（全員賛成分）

- パソコン等購入契約締結について（原案可決）
- 高槻市職員の育児休業等に関する条例等中一部改正について（原案可決）
- 高槻市風致地区内における建築等の規制に関する条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻市道路線の認定及び廃止について（原案可決）
- 令和7年度高槻市水道事業会計補正予算（第1号）について（原案可決）
- 高槻市教育委員会委員任命につき同意を求めることについて（同意）
- 高槻市会計年度任用職員の給与等に関する条例中一部改正について（原案可決）
- 高槻城公園北エリア（一期）整備工事（公園）請負契約締結について（原案可決）
- 高槻城公園北エリア（一期）整備工事（建築）請負契約締結について（原案可決）

令和7年9月定例会の議案に対する表決結果（意見の分かれたもの）

会派名	高槻市議会議員団	大阪維新の会	公明党議員団	議員・無所属	市民連合議員団	日本共産党高槻市議会議員団	無所属	結果
議員名 議案名	江沢とよ子 木山ユウ子 鈴木ゆういち 竹中り健 田村のり子 山崎里弘 吉田稔	五十嵐秀城 笹内和志 高井浪枝 三井泰之 宮田俊治 湯峰佳章 吉田章浩	岩金為俊 金森雅樹 中村明子 平田裕一 真鍋宗一郎	久保隆之 小森永信 遠矢卓也 森本信之 吉田錦司	吉田純子 出町れいか 中村純子 川口洋一 北岡隆浩 高木りゅうた 西村ゆみ	川口洋一 北岡隆浩 高木りゅうた 西村ゆみ	川口洋一 北岡隆浩 高木りゅうた 西村ゆみ	川口洋一 北岡隆浩 高木りゅうた 西村ゆみ
高槻市議会議員及び高槻市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○
高槻市立公民館条例中一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度高槻市一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度高槻市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度高槻市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度高槻市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度高槻市財産区会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度高槻市下水道等事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	○
令和7年度高槻市一般会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成は○、反対は×。議長（久保 隆議員）は表決に加わっていません。

一般質問

9月定例会で28人の議員が行った一般質問の要約を掲載しています。

詳細は12月中旬以降に、市議会ホームページ「会議録検索」で閲覧できます。

一般質問の記事は、質問した議員自身が作成しています。ご不明な点は、議員にお尋ねください。

▼西村ゆみ議員

通学時の制服着用



議員 校区により制服の取扱いが異なりますが、市の理念や基本的な考え方は、
答弁 校長が定めます。

議員 校長の異動等で取扱いが変わると不安を与えかねないため、最低限の基準を示す必要があるのでは。

▼吉尾卓也議員

内水氾濫の対応



議員 これまでの下水道施設の整備状況を伺います。

答弁 豪雨対策として、雨水貯留施設や雨水流出抑制施設を整備しています。

議員 雨の降り方の変化

を認識し、降雨設定条件等を見直した対策が必要では。

▼金森雅樹議員

コミュニケーション活動



議員 芥川・北清水の両地区が取り組んできた公民館のコミュニケーションセンター移行への経験等の活用は。

答弁 両地区での貴重な経験を共有し、新たな機運の醸成につなげていきたいと考えています。

▼中村明子議員

投票率向上の取組



議員 若者の多い学校等に期日前投票所を設置することに對する市の考えは。

答弁 有権者の割合や運営面に課題があるため、他市の状況等を参考にします。

▼遠矢家永子議員

地域公共交通、樫田地域の住環境維持・改善



議員 地域公共交通の在り方、持続可能性の確保は。

答弁 活性化及び再生に向けた検討を進めています。

議員 職員の処遇改善、公金投入の検討、市民生活の保険として市バス維持を。

▼吉田錦司議員

安全で豊かな給食を



議員 食材の高騰が続く中、栄養価など、給食の質の確保はできていましたか。

答弁 味付けの工夫等で、質の維持に努めています。

▼このぎよし議員

いじめ不登校の現状



議員 子どもたちの変化やサインに気づく取組は。

答弁 アンケート調査や教職員との面談等で児童生徒の様子を把握しています。

議員 異変に気づき、つらい世界から出口へ導いてあげられるよう体制強化を。

▼田村のり子議員

高槻市農業の未来



議員 本市の地域計画策定における意見や課題は。

答弁 後継者不足や機械の費用負担の課題がありま

すが、農地集積・集約化はおおむね理解を得ています。

▼出町ゆかり議員

樫田デマンドバス



議員 現在通行止めの樫田2号線のバスの運行は。

答弁 通行止め解除に合わせて運行を検討します。

議員 上出灰の公共交通は、地元の人たちの思いです。解除後すぐに、時刻表の変更や新バス停の設置を。

▼きよた純子議員

動物との共生



議員 市内病院への地域猫活動の協力病院に向けた働きかけ、地域猫活動のアドバイザー派遣・理解促進の啓発を求めますが見解は。

答弁 獣医師会や動物病院に周知し、理解促進に向けてさらなる啓発に努めます。

▼真鍋宗一郎議員

本市における大阪・関西万博の取組



議員 取組の内容は。

答弁 開幕前には機運醸

成の取組を行い、開幕後には「大阪ウィーク」に高槻まつり振興会や高槻ジャズストリート実行委員会が参加し会場を盛り上げました。

▼竹中 健議員

民間提案制度の導入



議員 民間提案制度の導入の検討を行う考えがあるのか、見解を伺います。

答弁 慎重な検討が必要であると考えています。

議員 制度導入による住民サービスの向上を実現するまちを目指してほしい。

▼湯峯佳代子議員

妊娠期ケア



議員 本市における妊娠期の寄り添い支援の取組は。

答弁 子ども家庭まもりセンターにおいて支援し孤立感軽減を図っています。

議員 MY助産師制度のような継続的寄り添い支援の導入の検討を。



▼三井泰之議員
持続可能な医療体制



議員 本市の医療体制は。
答弁 初期救急から三次救急まで、全段階の救急医療体制がそろっています。

議員 高齢化のピーク等の2040年を見据え、あるべき姿を明確にし全国に誇るべき医療体制の堅持を。

▼高木りゅうた議員
施設一体型一貫校



議員 学校教育審議会に全中学校区で施設一体型小中一貫校の設置を前提で諮問したのか、分離型等も含めて諮問したのか伺います。

答弁 現状を踏まえた義務教育学校設置の在り方の調査審議を諮問しています。

▼山崎麻里子議員
多様な生き方支援を



議員 プレコン推進は。周知啓発を行います。

議員 プレコン・卵子凍結は選択肢の幅を広げます。市は、選択を後押しする役割があり、市民が安心して未来を描けるような環境を。

▼木山ユウ子議員
校内教育支援センターとインクルージョン



議員 全校設置の効果は。
答弁 児童生徒の欠席日数の減少等です。

議員 通常学級に変化をもたらし、学校のインクルージョン推進の要となる場所として期待しています。

▼高島佐浪枝議員
健康な妊娠・出産



議員 プレコンセプションケアの普及啓発について市の見解を伺います。

答弁 国の調査等で認知度が低いため思春期から成人期に至るまで性別を問わずあらゆる機会を捉えて積極的な周知啓発に努めます。

▼江沢よし議員
障がい児通学支援
現状と今後の取組は



議員 移動支援事業の改善の必要性に対する見解は。
答弁 他市等の状況を調査研究していきます。

議員 学びの保障で社会性や自立心が育まれるよう制度整備を強く要望します。

▼北岡隆浩議員
市職員のネット投稿



議員 市職員がパワハラを受け自殺したと、別の市職員を名のる者が議員や新聞社宛てにネット投稿しました。自殺は事実ですか。

答弁 死因は異なります。議員 仮にパワハラや自殺が虚偽なら厳正な処分を。

▼小森禎之議員
民泊事業者の把握



議員 市内に民泊事業者はどの程度存在し、法的に必要とされる手続は全て適切に処理されていますか。

答弁 令和7年8月末時点で24件で、市が所管する事務は適切に対応し法令手続は府で確認しています。

▼森本信之議員
兄弟姉妹同一園通園



議員 次年度入所選考時からの加点強化の内容は。
答弁 現在は兄弟が第1希望施設在籍の場合や多胎児の同時申込みを加点しており、次年度は多胎児以外の兄弟同時申込みも加点し兄弟加点も増やす予定です。

▼鈴木りゅういち議員
市バス運営の心構え



議員 事故で損壊した上天神バス停の標柱が約40日間、現場に置かれた理由は。

答弁 相手方保険会社との調整等が要因ですが安全確保に最善を尽くしました。議員 事故の芽は摘み取り、安全文化の醸成を。

▼きもとゆう議員
教育機会の均等を



議員 教育格差による学力格差の二極化を懸念しますが、現状をお伺いします。

答弁 学力格差は拡大傾向にあると捉えています。議員 不利な家庭の児童生徒の教育機会確保のため習い事・塾代助成の導入を。

▼平田裕也議員
人材輝く市政運営



議員 市職員が能力を最大限に発揮できる組織づくりについて、市長の考えは。

答弁 職員の皆さんに、自らの仕事で、市民を守る崇高なものであるという誇りを持ってもらえるような組織づくりに努めます。

▼吉田章浩議員
福祉避難所の拡充



議員 さらなる福祉避難所の拡充について期待を寄せる思いですが、見解は。

答弁 市内の介護老人保健施設については、各施設からの承諾が得られ次第、年内を目途に協定締結を進める予定としています。

▼中村れい子議員
物価高への支援を



議員 昨年度の黒字額は35億円。市民のために使うべき財源ですが、見解は。

答弁 令和7年度以降の財源として活用します。議員 物価高への支援でプレミアム付商品券など昨年以上の支援を要望します。

▼岩 為俊議員
農業・農村



議員 農村で今最も要望されていることは農作業従事者です。稲作請負会社等の法人設立に関する見解は。

答弁 農作業従事者の安定的確保は重要。課題解決の1つとして、新たな法人等の設立も有効と考えます。

議会日誌

- 8月19日 議会だより編集委員会
9月1日 議会運営委員会
4日 本会議第1日
8日 本会議第2日
10日 文教にぎわい委員会
福祉企業委員会
議会だより編集委員会
11日 市民都市委員会
総務消防委員会
18日 議会運営委員会
24日 本会議第3日
25日 本会議第4日
26日 議会だより編集委員会
10月6日 議会運営委員会
14日 福祉企業委員会協議会
16日 議会だより編集委員会

議会の日程

Information

- 11月4日(火)10時 市街地整備促進特別委員会
10日(月)10時 地方分権推進特別委員会
28日(金)10時 議会運営委員会
12月3日(水)10時 本会議(提案理由説明)
5日(金)10時 本会議(質疑)
9日(火)10時 文教にぎわい委員会
10時 福祉企業委員会
10日(水)10時 市民都市委員会
10時 総務消防委員会
15日(月)10時 議会運営委員会
18日(木)10時 本会議(採決、一般質問)
19日(金)10時 本会議(一般質問)
22日(月)10時 本会議(一般質問)

日程は変更される場合がありますので、傍聴の際には議会事務局までお問い合わせください。
(TEL 072-674-7213)

議会防災訓練を実施

本会議場において、非常時に迅速かつ安全に避難できること等を目的に、9月8日(月)の本会議終了後に議会防災訓練を実施しました。

本会議場から屋外に避難する実地訓練や傍聴者への避難誘導等の訓練を通して、参加者1人1人が防災意識を高め、日頃からの備えの重要性を再認識する機会となりました。



◆ 行政視察の概要 ◆

委員会視察

議会運営委員会

- 視察者 五十嵐秀城／岩 為俊／きもとゆう／久保 隆
田村のり子／中村れい子／森本 信之／吉田 章浩
- 日程・視察先・視察項目
8月22日(金)
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
・災害時に議員が担う地域防災における役割について

議会だより編集委員会

- 視察者 五十嵐秀城／木山ユウ子／久保 隆／出町ゆかり
中村 明子／山崎麻里子／湯峯佳代子／吉田 錦司
- 日程・視察先・視察項目
8月26日(火)
和歌山県和歌山市
・議会広報と議会だよりの編集について

雑記帳

高槻市議会は市民の皆様には議会の活動を知っていただくため、「議会だより」を全戸配布しています。誌面構成の関係で一般質問は2ページ分とし、そのときの質問者数に応じて個々の議員の文字数を割り振っています。文章は質問者である議員が作成しているため、議員の思いが詰まっています。スペースの関係で質問を全文掲載することはできないため、詳しい内容はホームページや市役所で閲覧が可能です。ぜひご覧ください。

本欄は編集委員(議員)が交代で書いています。